

平成27（2015）年10月1日

10月7日（水）、異常時総合訓練を相模大塚駅構内で実施

当社と大和市消防本部・大和警察署から約360名が参加

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道株（本社・横浜市西区、社長・小澤重男）では、平成27年（2015年）10月7日（水）午前10時から、相鉄線相模大塚駅構内（大和市桜森）で踏切事故を想定した異常時総合訓練を実施します。

この訓練は、異常時におけるお客様の避難誘導、関係各所への連絡通報、負傷者の救出や復旧作業等を速やかに行えるよう、関係者間の連携強化と事故処理技能の向上を目的として毎年秋に実施しているものです。

今回の訓練は、「上星川駅～西谷駅間の踏切で急行列車がトラックと衝突し、列車が脱線」という想定のもと、当社から約330名、大和市消防本部および大和警察署から約30名が参加します。

異常時総合訓練の概要は別紙のとおりです。



異常時総合訓練（昨年度）の様子

(別紙)

平成27年度異常時総合訓練の概要

1. 名 称 平成27年度異常時総合訓練
2. 日 時 平成27年(2015年)10月7日(水)10時00分～12時45分
3. 場 所 相模鉄道本線 相模大塚駅構内 (大和市桜森3-1-1)
4. 参加人員 約360名 (相模鉄道㈱、大和市消防本部、大和警察署)
5. 事故想定 横浜駅発海老名駅行きの急行列車が、上星川駅～西谷駅間にある踏切を通過する際、遮断かんを突破して踏切内に進入してきたトラックと衝突し脱線、車両床下から発煙があった。このため、一部の車両機器、電車線、線路が損傷し、踏切警報機、安全柵が損壊した。一方、衝突したトラックは、上り線路側に跳ね飛ばされ破損・発煙した。この事故により、列車内のお客様数名が負傷するとともに、トラックの運転手が運転席から投げ出され、列車の下敷きとなった。
6. 主な訓練内容
 - ①併発事故防止訓練
 - ②情報提供・連絡・通報訓練
 - ③消防・警察との連携による負傷者の救出および避難誘導訓練
 - ④損傷箇所の早期復旧訓練

以 上